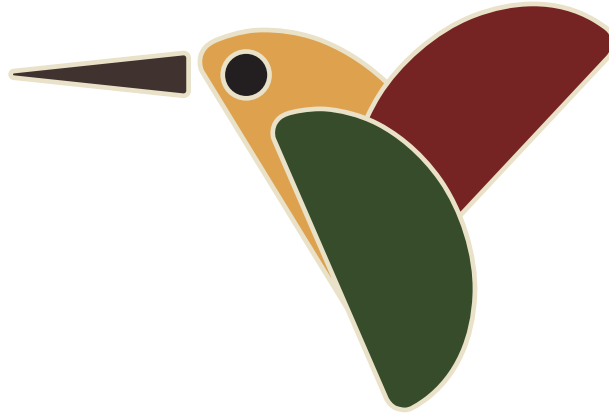


いま わたしにできること



ある日のこと
森が大きな火事になりました
森の生きものたちはあわてて
われ先にと逃げて行きました

でも
一羽のハチドリだけは火を消そうと
一滴の水を口ばしに行ったり来たり
それを見ていた森の生きものたちは

「そんなことをしても無駄じゃないか」
と言って笑うだけです

ハチドリは言いました
「いま わたしにできることがあるよ」
(南米のアンデス地方に伝わる民話より)

それがどんなに小さくても
チカラとチカラが集まれば大きくなれる

地域のチカラが日本を支える
日本のチカラが世界を支える

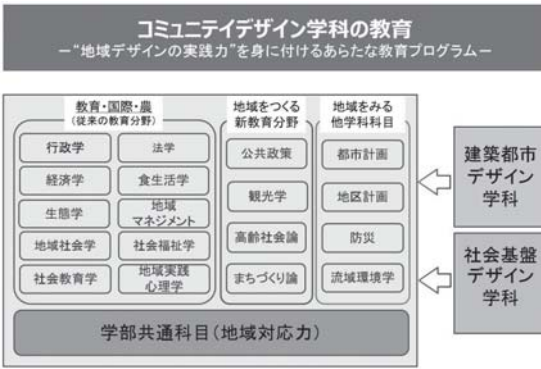
いま
わたしにできることから始めませんか？

地域デザイン科学部

チカラとチカラをつなぎ 地域を支える 世界を支える

コミュニティデザイン学科

平成二十八年四月にスタートする地域デザイン科学部は、宇都宮大学では五つ目の学部となる。地域を抱える課題の解決や、まちづくりに貢献できる人材の育成を目指している。また、文系と理系の枠にとらわれず、地域での実践を重視して学ぶことを特徴としている。



学科は、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の三つ。なかでも地域社会の担い手として、地方自治や観光、福祉などの視点から地域を考えるコミュニティデザイン学科の特徴とは何か。

コミュニティデザイン学科における教育プログラムの特長は、次の三点にまとめられることができる。一つは地域の自然・文化、生活と社会システムの視点を融合した学際的教育。二つ目はアクティブラーニングによる実践的な地域課題解決能力の養成にある。そして三つ目は、社会人としての基礎力とソーシャルスキルの養成だ。現代の地域社会は多様に複雑化しており、そこに存在する課題も多様かつ複雑

で、重層的な形で存在している。そのような地域社会の中で活動は、地域が求められている。そのためには、地域資源を理解するために十分な専門知識が必要であり、さらに社会システムや地域生活を理解できるだけの専門知識を備えなければならない。

このことから、コミュニティデザイン学科では、専門分野を三つの領域すなわち、社会システム領域(公共政策、地方自治、社会システムマネジメント)、地域資源領域(ランドスケープ、ツーリズム、文化マネジメント)、地域実践領域(社会教育、福祉、多文化共生)に重点化し、まちづくりに必要な専門知識が身につくようになっている。地域社会の課題解決により「まちづくり」を推進するための、地域で活動できる実践力が求められる。このためアクティブラーニングを重視し、実践的な課題解決能力の資質育成のため、各科目で多彩な参加型学習を取り入れた授業を開設するほか、地域デザインセンター(設置予定)を通じて、地域をフィールドとした実践的な教育を行う。

また、地域計画を実現するためには、協働作業を有効に遂行できる能力が必要であり、コミュニケーション能力や合意形成力などのジェネリックスキルが求められる。このことから、社会人としての基礎力とソーシャルスキルの養成を独自の観点からより強化する方針だ。

栃木県をフィールドに地域デザインのプロを養成する新しい学部。全国の「まち・ひと・もの」をさらに磨き上げるとい取り組みに、多くの期待が寄せられている。

新たなまちづくりに向けて
社会システムを支え、魅力
ある地域をデザインする

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域と連携してさまざまな現場を訪れ、体験しながら学習を深めます。さらに、公共政策、地方自治、経済、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPOなどの専門的な分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力を養い、二十一世紀の地域社会の担い手として、行政機関や民間企業、NPO等で率先して活躍できる人材を育てます。

チカラとチカラ

コミュニティデザイン学科では、地域社会を構成する社会集団や制度などをデザインする人材を育成します。そのため「力」能力として、以下のような能力を身に付けることが目指されています。

- ◆ 地域社会の現状と成り立ちを幅広い視点から理解することができる
- ◆ 地域社会の課題を発見すると共に、分析することができる
- ◆ 地域の資源を新たなまちづくりに活用することができる
- ◆ 新たなまちづくりに向けて制度を設計し政策を提案することができる
- ◆ 地域で主体的・協働的に行動し、活力あるコミュニティの形成に貢献できる



コミュニティデザイン学科でのカリキュラムは、地域における「チカラとチカラをつなぐ」地域を支える「など、地域(コミュニティ)をどのように設計・構想(デザイン)するかについての専門的な知識と経験が学べます。これを生かした卒業後の進路としては、公務員(行政職)、金融業、旅行業、社会調査コンサルタント、シンクタンク、NPOなどの職種が想定されます。



チカラとチカラをつなぎ 地域を支える 世界を支える コミュニティデザイン学科

- ・ **社会調査士**
社会調査の基礎能力を有する専門家として社会調査協会が認定する資格です。調査結果からその問題点や課題に気づくことができるようになり、地域づくりの際の基礎的なデータを客観的に示すことができます。
- ・ **社会教育主事(任用資格)**
社会教育や生涯学習などに関連する企画立案や教育の方法などに関する専門知識を有する資格で、主に市町村や都道府県において任用されます。学校教育・家庭教育以外の教育活動をどのように考え、どのように作っていくかが問われる資格です。
- ・ **高等学校教諭一種免許状(公民)**
高等学校などで公民科を教えることができる資格です。政治・経済・社会に関する体系的な知識は、高等学校教員として活躍できるだけでなく、地域づくりにおいても大きく役立つといえます。



中村祐司学科長からのメッセージ

地域デザイン科学部の魅力は、何といってもみなさんにとって学ぶ素材が身近に溢れていることです。わたしたちが日常生活で目にする身の回りのさまざまな「モノ」や「サービス」あるいは「ハード」や「ソフト」に目を凝らすと、必ずある種の気づきにつながるはず。たとえば、百円ショップで売られているさまざまな小物は、いったいどこで誰によってどのように作られ、さらにはどのような流通(物流)によってショップに届けられているのでしょうか。また、ちょっと足をのせば参加できるいろいろなイベントは、主催者や後援者が何を目的にどのような効果をねらって開催するのでしょうか。身の周りのあらゆる現象にアンテナを張れば市場や社会のメカニズムが見えてきます。

宇都宮大学 地域デザイン科学部

LINE@ 公式アカウント

ID @udai_rd



facebook.com/uu.dcd

facebookはアカウント
がなくても閲覧できます。
是非一度お越しください。

